

【受付番号：14 倫理審査名：当院産科・小児科から地域行政へ養育支援を依頼した母児の経過】 オプトアウト（ホームページ掲載文書）

「当院産科・小児科から地域行政へ養育支援を依頼したお母さんとお子さんのその後」に

ついでの研究のお知らせ

2016年6月から2018年1月までに、芳賀赤十字病院産婦人科あるいは小児科から、地域行政と連携した「養育支援事業」をご紹介したお母さんとお子さんを対象とした研究を行っていることをお知らせします。

1. 研究の意義と目的

近年、核家族が増加し、父親の育児休暇習得率は低く、赤ちゃんの養育は母親に大きくゆだねられる傾向があります。しかし、赤ちゃんは言葉も通じず、相手の都合に関わらずに自分の感情を訴えるだけで、母親は精神的にも身体的にも疲弊します。そのようなお母さんの精神的、身体的負担を軽減するために、厚生労働省から、医療機関と地域の保健師が連携してお母さんと赤ちゃんを支援する「養育支援事業」が提案されています。この「養育支援事業」では、実際にお母さんが子育てを負担に感じていなくても、核家族で養育するお母さんや双子を育てるお母さん、持病をお持ちのお母さんなど、お母さんへ負担がかかると考えられる場合にも支援を受けることができます。そこで、当院の産科と小児科では、厚生労働省の提案する「養育支援事業」の対象となるお母さんとお子さんに、2016年から積極的に「養育支援事業」をご紹介しています。

今回、当院から「養育支援事業」を対象となるお母さんとお子さんに当事業をご紹介した結果、お母さんとお子さんにどのような利点があり、また地域の保健師からどのような支援が

【受付番号：14 倫理審査名：当院産科・小児科から地域行政へ養育支援を依頼した母児の経過】 オプトアウト（ホームページ掲載文書）

提供されたのか、を検討し、さらに質のよい実用的な養育支援を提供できるように、当院のお母さんとお子さんの情報を調べて、地域行政にはアンケート調査を行うことになりました。

2. 研究の方法

2016年6月から2018年1月までに芳賀赤十字病院の産科・小児科から養育支援事業をご紹介したお母さんとお子さんを対象に、診療の記録（カルテ）から以下の事項を調べ、また地域の保健師に、その後のお母さんやお子さんの状況、養育支援事業についてアンケート調査を行います。

お母さんについては、以下の事項を調べます。

養育支援理由	養育支援依頼日	養育支援書内容	分娩日	退院日
分娩後の経過	保健師チェックリスト結果		地域行政の返書内容	

お子さんについては、以下の事項を調べます。

氏名の頭文字	生年月日	産科・小児科の養育支援中経過
--------	------	----------------

地域行政には、以下の項目をアンケート調査します。

お子さんの産科退院後経過	お子さんの最近の状況	
最近の乳児健診状況	お母さんの様子	当院の養育支援についての意見

3. 個人情報の保護について

この研究を実施するにあたって、患者さんの診療の記録（カルテ）から得られる情報から住所、名前等が削られ、患者さん個人が特定できないように符合をつける「匿名化」を行

【受付番号：14 倫理審査名：当院産科・小児科から地域行政へ養育支援を依頼した母児の経過】 オプトアウト（ホームページ掲載文書）

い、鍵のかかるキャビネットに保管致します。患者さんとこの符号とを結びつける対応表は、研究責任者が鍵のかかる別のキャビネットに保管することにより、患者さん個人の情報を管理します。これを連結可能匿名化といいます。こうすることによって、診療情報の解析を行う研究者には、誰の診療情報を解析しているのか分かりません。患者さん個人を特定する情報が公開されることはありません。調査対象となる患者さんお一人お一人へのご説明は致しませんが、ご自分の情報をこの研究に用いられたくないとお考えの場合にはお申し出ください。調査対象から省かせていただきます。この場合でも、診療や病院サービスにおいて患者さんへの不利益はございませんので、遠慮なくご連絡ください。なお、連絡が届いた時点で、すでに研究成果が発表され修正が不能である場合があります。この研究は2018年8月31日までを予定しており、研究期間終了後は得られた情報は診療実績情報として保管します。

この研究についてご質問などございましたら、下記までお問い合わせください。

連絡先：芳賀赤十字病院小児科 齋藤真理、菊池豊

電話：0285-82-2195 FAX：0285-84-3323